



※保護者様へ お子様と一緒に読んでください。

雨の多い季節になりました。日本では6月から7月にかけてのこの季節を、「梅の熟すころの雨」→「梅雨」と呼ぶようになったそうです。

日本ではそれぞれの季節に、すてきな名前がついていることがあります。ぜひ図書室の本で調べてくださいね。

あめのひのとしょしつは

雨の日には、いつもよりたくさんの方が図書室を利用します。

長い列ができたり、混みあったりしますが、そんなときこそルールとマナーを守り、周りの人に迷惑をかけない過ごし方ができるようにしましょう。

～こんなことに気をつけよう～



①列に並んだら

「時間内に借りられるかな？」と焦る気持ちもあるけれど、自分の番になるまで、落ち着いて待ちましょう。



②自分の番になったら

本のバーコードを読み取ってもらうときに、「借ります」「返します」のどちらなのか伝えるようにしましょう。そうすることで、早く手続きをすませることができます。

③周りにいる人のために

歩いている人や借りる本を選んでいる人のために、通路や本だなの前をあけておきましょう。みんなが気持ちよく利用できますよ。



混んでいるとイライラするけど、ちょっとがまん！

図書委員さんも、いっしょうけんめい、がんばっています。





本のバーコードと背ラベルをはがさないで！



〈バーコード〉

図書室の本には、「バーコード」と「背ラベル」が貼ってあります。バーコードは、図書室の本を返却・貸出するときに必要です。ラベルには、もとの場所に戻るための本の住所が書いてあります。どちらもとても大切なものです。

絶対にはがさないでください。

はがれかけている本を見つけたら高橋先生まで知らせてください。



〈背ラベル〉

ボランティアさんによる読み聞かせが始まりました！



今年度も4/16(水)からボランティアさんによる朝の読書タイムの読み聞かせがスタートしました。ボランティアさんは、毎回みなさんのよろこぶ顔を思い浮かべて本を選んでくださっています。うれしいですね。今年度は読み聞かせA、Bともに全部で9回来ていただく予定です。1年間どうぞよろしくお願ひします。



季節の本だな

ここで紹介する3冊は、すべて石井小の図書室で借りられます。「雨」がテーマの本をよんで、雨の日を楽しくすごしましょう♪ お天気の本など、たくさん用意しています。



『雨、あめ』

作：ピーター・スピアー

出版社：評論社



『あたし、ピーカンちゃん』

作：大森 裕子

出版社：教育画劇



『天気の子』

監修：武田 康男、菊池 真以

監修：武田 康男、菊池 真以

出版社：ポプラ社